「９がつく日」自転車ニュース
平成２４（２０１２）年１２月１９・２９日　No.３

自転車産業振興協会の注意喚起チラシ（18年度事業）

空気入れ使用上の注意：　ポイントは？

１．買うときに！

新JIS

旧JIS

SGマーク

本体などに製造業者や輸入業者等の連絡先、製造や輸入の年月日の表示を確認。品質保証のJISマークや安全な製品の印であるSGークを手掛かりに購入。

２．買った後、すぐに！

包装をほどいたら、説明書を読みます。握り、キャップ、本体に緩みや亀裂などがないことやきちんと空気が入るかを確認。取扱説明書は捨てないで、保管。

３．日常使う前にも　再確認！

使っているうちに不具合が生じることもあります。握りやステップの破損・変形やシリンダーキャップなどのゆるみが分かったら使用を中止し、製造業者や購入した店などに相談。修理できると思って、分解するのは事故につながるので、禁止です。樹脂やゴムは使用の有無にかかわらず徐々に劣化します。

４．空気を入れるとき！

平らな場所で使用します。空気を押しこむ時、押し切らないで途中でやめると、入らずにいた空気が圧縮されて急に握りなどが押し戻されることがあります。子供など不慣れな人だけでの使用は禁止。

ついでに、タイヤにガラスや石などが刺さっていないかを点検。

５．空気が入りにくいとき！

畜圧タンクがある場合、空気を入れる力が極端に重くなった時、畜圧タンクの内圧が高まり、タンクが外れて飛び出す危険があります。無理に空気を入れず自転車店などで点検してください。英式バルブを使用したタイヤの場合、虫ゴムが劣化し、空気が入らなくなることがあります。

６．保管場所に気を配る！

屋外で使用する製品ですが、保管場所は取扱方法の表示に従い、雨ざらしや直射日光が当たる場所を避けてください。本体が金属製のものは雨ざらしにすると内部に雨水が入り、腐食して強度が低下する場合があります。ホースは折り曲げないでやさしく保管。

◎取扱説明書のとおりに、空気入れを使いましょう。

９がつく日は　自転車の空気を入れて、快適走行！！！

＜自転車流通研究会　事務局＞
財団法人自転車産業振興協会　統括事業部
〒107-0052 東京都港区赤坂１－９－３　電話 03-5572-6409　E mail:9ki@jbpi.or.jp
http://www.jbpi.or.jp/9ki